

文学部日本文学科 カリキュラムマップ・科目ナンバリング

文学部日本文学科のカリキュラム			学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連					
科目名	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	日本文学の歴史の変遷について理解し、説明することができる。	日本文学と世界の他地域の文学との関わりについて理解し、説明することができる。	日本語の口語や文語に関する正しい知識や文字を修得し、上代から現代までの文学作品を正しく読み解くことができる。	日本文化の諸相について理解し、説明することができる。	日本語で表現する機会においては、他者との良好な関係を築き、協働して目的を達することができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真理を探究するために自律的に研究・調査できるための資質を身につけている。
学科基礎科目 (学科入門科目)								
日本語学入門Ⅰ	A1-JLN-101-J	日本語の多様な側面 (音声・語彙・文法・表記など) を学問の対象として観察・分析する力がつく。			◎	○		
日本語学入門Ⅱ	A1-JLN-102-J	日本語の多様な側面 (音声・語彙・文法・表記など) を学問の対象として観察・分析する力がつく。			◎	○		
日本文学入門Ⅰ	A1-JLT-101-J	日本文学研究に必要な基礎知識 (基本文献とその探し方、書誌学の知識、くずし字の読み方など) が身につく。	○		◎			
日本文学入門Ⅱ	A1-JLT-102-J	日本近代文学の誕生から確立に至る経緯を知ることができる。	◎		○			
学科基礎科目								
日本文学史Ⅰ	A1-JLT-103-J	上代から近世までの古典文学を歴史的観点から総括的に把握できる。	◎		○			
日本文学史Ⅱ	A1-JLT-104-J	上代から近世までの古典文学を歴史的観点から総括的に把握できる。	◎		○			
比較文学Ⅰ	A1-LIG-101-J	日本近代文学への外国文学の影響を理解し、また日本文学と外国文学との比較の意義を知ることができる。		◎	○	○		
比較文学Ⅱ	A1-LIG-102-J	日本近代文学への外国文学の影響を理解し、また日本文学と外国文学との比較の意義を知ることができる。		◎	○	○		
日本語日本文学演習Ⅰ	A1-SEM-201-J	少人数のクラスに分かれて自ら調べ、考え、発表するための訓練を積み重ねることができる。			○		○	◎
日本語日本文学演習Ⅱ	A1-SEM-202-J	少人数のクラスに分かれて自ら調べ、考え、発表するための訓練を積み重ねることができる。			○		○	◎
キャリアデザイン	A1-CAE-101-J	文学部での学びが、現実社会の諸問題の解決に貢献できることを理解し、文学部で学ぶことの強みを説明することができる。						◎
学科基幹科目								
卒業研究ゼミナールⅠ	A1-THE-301-J	対象から問題を見出し、解決のために自ら調査し、解決策を探り、それを文章 (論文または制作物に対する解説) によって表現するという、一連の学問的経験が得られる。			○		○	◎
卒業研究ゼミナールⅡ	A1-THE-401-J	対象から問題を見出し、解決のために自ら調査し、解決策を探り、それを文章 (論文または制作物に対する解説) によって表現するという、一連の学問的経験が得られる。			○		○	◎
日本語史・日本語学史Ⅰ	A1-JLN-201-J	上代から現代に至るまでの日本語の歴史、変遷について総括的に把握できる。		○	◎	○		
日本語史・日本語学史Ⅱ	A1-JLN-301-J	上代から現代に至るまでの日本語の歴史、変遷について総括的に把握できる。		○	◎	○		
上代文学を読むⅠ	A1-JLT-201-J	上代文学諸作品を読むことで、上代文学に対する理解が深まる。	○		◎			
上代文学を読むⅡ	A1-JLT-301-J	上代文学諸作品を読むことで、上代文学に対する理解が深まる。	○		◎			
中古文学を読むⅠ	A1-JLT-202-J	中古文学の諸作品を読むことで、中古文学における「虚構」と「歴史」の方法が把握できる。	○		◎			
中古文学を読むⅡ	A1-JLT-302-J	中古文学の諸作品を読むことで、中古文学における「虚構」と「歴史」の方法が把握できる。	○		◎			
中世文学を読むⅠ	A1-JLT-203-J	中世文学諸作品と、他の文芸・文化との関係が分かる。	○		◎			
中世文学を読むⅡ	A1-JLT-303-J	中世文学諸作品と、他の文芸・文化との関係が分かる。	○		◎			
近世文学を読むⅠ	A1-JLT-204-J	近世文学作品を丁寧に読み込む力が身につく。	○		◎			
近世文学を読むⅡ	A1-JLT-304-J	近世文学作品を丁寧に読み込む力が身につく。	○		◎			
近代文学を読むⅠ	A1-JLT-205-J	近代文学の諸作品を読むことで、近代文学についての基本的な知識と研究方法が身につく。	○		◎			
近代文学を読むⅡ	A1-JLT-305-J	近代文学の諸作品を読むことで、近代文学についての基本的な知識と研究方法が身につく。	○		◎			

文学部日文学科のカリキュラム			学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連					
科目名	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	日本文学の歴史の変遷について理解し、説明することができる。	日本文学と世界の他地域の文学との関わりについて理解し、説明することができる。	日本語の口語や文語に関する正しい知識や文法を修得し、上代から現代まで各時代の文学作品を正しく読み解くことができる。	日本文化の諸相について理解し、説明することができる。	日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達することができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真理を探究するために自律的に研究・調査できるための資質を身につけている。
中国文学を読むⅠ	A1-CHL-201-J	日本語や日本文学の背景には、漢文がかかわっていることが少なくない。受講によって、漢文読解力が向上する。		◎		○		
中国文学を読むⅡ	A1-CHL-301-J	日本語や日本文学の背景には、漢文がかかわっていることが少なくない。受講によって、漢文読解力が向上する。		◎		○		
現代文学Ⅰ	A1-JLT-105-J	戦後文学や女性文学の諸作品を読み進めることで、現代文学の特質を理解することができる。	○		◎			
現代文学Ⅱ	A1-JLT-106-J	戦後文学や女性文学の諸作品を読み進めることで、現代文学の特質を理解することができる。	○		◎			
児童文学	A1-JLT-107-J	児童文学の諸作品を読み、児童文学・文化の輪郭を理解することができる。			○	◎		
郷土の文学	A1-JLT-108-J	東海地方ゆかりの作品を読み、この地方の文化や文学の重要性を捉えることができる。			○	◎		
大衆文学	A1-JLT-109-J	大衆文学の諸作品を読むことで、その輪郭と内実が理解できる。			○	◎		
短詩型文学の世界	A1-JLT-110-J	短歌と俳句の違いを知り、海外の人にも説明できる力が身につく。	○	○		◎		
外国文学の世界	A1-EUL-101-J	外国文学の諸作品を読むことで、他者とは何かを思惟する力が養われる。		◎		○		
学科展開科目								
国語表現法Ⅰ	A1-FYE-101-J	国語の表現に関する様々なスキル（言語コミュニケーション、文章作成法、論理的読解、資料調査法）が修得できる。				○	◎	○
国語表現法Ⅱ	A1-FYE-102-J	国語の表現に関する様々なスキル（言語コミュニケーション、文章作成法、論理的読解、資料調査法）が修得できる。				○	◎	○
中国文学Ⅰ	A1-CHL-101-J	中国語・中国文学に関する様々な教材を扱うことで、漢字・漢文の基礎知識が幅広く身につく。		◎		○		
中国文学Ⅱ	A1-CHL-202-J	中国語・中国文学に関する様々な教材を扱うことで、漢字・漢文の基礎知識が幅広く身につく。		◎		○		
中国文学史	A1-CHL-102-J	古代以来の中国文学の諸作品を読むことで、その成立について理解することができる。		◎				
図書の世界	A1-JLT-111-J	和装本などの実物にふれ、袋綴本を作ったりすることで、昔の本に慣れ親しむことができる。				◎		
演劇の世界	A1-ARL-101-J	世界の劇場と演劇文化について理解し、アートマネージャーの世界を身近に感じることができる。		◎		○		
日本語日本文学特論Ⅰ	A1-JLT-112-J	(不開講)						
日本語日本文学特論Ⅱ	A1-JLT-206-J	柳田國男や折口信夫の著述を読むなどして、日本文学の民俗学的研究についての理解が深まる。		○		◎		
コンピュータ活用技術	A1-SCE-101-J	レポート作成、ゼミの発表及び卒業論文に必要なパソコンの基礎的技術が修得できる。					○	◎
コンピュータで学ぶ文章作法	A1-SCE-102-J	大学生活を送る上で必要な文書作成が、パソコン上でできるようになる。				○	◎	○
日本語文法Ⅰ	A1-JLN-202-J	学校教育において取り上げる「文法」の意義と問題点が分かる。			◎	○		
日本語文法Ⅱ	A1-JLN-302-J	学校教育において取り上げる「文法」の意義と問題点が分かる。			◎	○		
日本語音声学Ⅰ	A1-JLN-203-J	日本語の「音」に関する体系的な知識・理解が得られる。			◎	○		○
日本語音声学Ⅱ	A1-JLN-303-J	日本語の「音」に関する体系的な知識・理解が得られる。			◎	○		○
日本語日本文学特論Ⅲ	A1-JLT-207-J	(不開講)						
日本語日本文学特論Ⅳ	A1-JLT-306-J	(不開講)						
国語教材論Ⅰ	A1-ESS-201-J	国語教材としてふさわしい古文の諸作品を読み進めることで、的確な読解力と授業を創っていく基本的な力が身につく。			○			◎

文学部日本文学科のカリキュラム			学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連					
科目名	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	日本文学の歴史の変遷について理解し、説明することができる。	日本文学と世界の他地域の文学との関わりについて理解し、説明することができる。	日本語の口語や文語に関する正しい知識や文字を修得し、上代から現代までの文学作品を正しく読み解くことができる。	日本文化の諸相について理解し、説明することができる。	日本語で表現する機会において、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達することができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真理を探究するために自律的に研究・調査できるための資質を身につけている。
国語教材論Ⅱ	A1-ESS-301-J	国語教材としてふさわしい古文の諸作品を読み進めることで、的確な読解力と授業を創っていく基本的な力が身につく。			○		◎	
中国文学を読むⅢ	A1-CHL-302-J	漢詩を理解し、鑑賞する力を養うことができる。		◎		○		
中国文学を読むⅣ	A1-CHL-401-J	漢詩を理解し、鑑賞する力を養うことができる。		◎		○		
日本語日本文学特論Ⅴ	A1-JLT-307-J	(不開講)						
日本語日本文学特論Ⅵ	A1-JLT-401-J	(不開講)						
大衆文化	A1-SOC-201-J	マンガ、アニメ、SF映画などを学問の対象として見ることができる。また、著作権についての基礎的な理解が得られる。				◎		○
現代日本語論Ⅰ	A1-JLN-304-J	自らの母語である現代日本語を学問の対象として見るということの意味が分かるようになる。			◎		○	
現代日本語論Ⅱ	A1-JLN-305-J	自らの母語である現代日本語を学問の対象として見るということの意味が分かるようになる。			◎		○	
メディア史	A1-SOC-202-J	近代以降の新聞メディアがいかに形成され、受容されていったかなど、その発展過程が分かる。			○	◎		
芸能文化	A1-ARL-201-J	歌舞伎と文楽の舞台を、劇場及び映像で見ることを通して、歌舞伎と文楽に関する基礎的な知識が得られる。	○			◎		
文章技術論Ⅰ	A1-JLN-204-J	基礎的なビジネス文書の種類とスタイルを習得できる。また、レポートや論文を書く際のルールが分かる。			○		◎	
文章技術論Ⅱ	A1-JLN-306-J	基礎的なビジネス文書の種類とスタイルを習得できる。また、レポートや論文を書く際のルールが分かる。			○		◎	
会話技術論Ⅰ	A1-JLN-205-J	話し言葉としての日本語の特徴や効果的に伝える技術を知り、状況に応じた言語表現ができる。			○		◎	
会話技術論Ⅱ	A1-JLN-307-J	話し言葉としての日本語の特徴や効果的に伝える技術を知り、状況に応じた言語表現ができる。			○		◎	
レトリック論	A1-JLN-308-J	ただ「見たまま、感じたままに話す(書く)」のではなく、相手に対して効果的に訴えるための表現技巧が身につく。			◎		○	
読書の文化史	A1-LIG-301-J	書物と社会との関係を通して、読書について考えることができる。	○			◎		
文字の文化史	A1-LIG-302-J	身の回りにある文字に対し、常に興味関心をもって見る眼と、文字に対する適確な理解が養われる。	○		○	◎		
出版の文化史	A1-LIG-303-J	各時代の出版の状況、出版物の形態、流通の様態、主要出版社の活動、読者の受容等々、さまざまな角度から日本の出版文化について理解できる。	○			◎		
翻訳論	A1-JLN-309-J	翻訳を通じて近現代日本の社会や歴史、文化の知識を身につけることができる。	○	◎		○		
民俗芸能論	A1-CAN-201-J	日本の祭りや民俗芸能を通して、日本人および自分とは何かを考えることができるようになる。				◎		
文化人類学	A1-CAN-202-J	沖縄の祭祀芸能や文学の世界にふれることで、沖縄から日本文化を見る視座が養われる。		○		◎		
日本文化史	A1-JPH-201-J	日本の思想文化を通じて、古代以来展開した、さまざまな思想・宗教の世界観を理解することができる。	○			◎		
古文書読解入門	A1-JPH-301-J	くずし字で書かれた古文書を読解し、戦国大名宛給文書のうち、一般的な和様漢文で書かれた文章を、読み下すことができる。	◎	○				
有職故実	A1-JPH-401-J	絵巻に描かれた貴族や武家の生活を眺めることで、有職・故実についての理解が深まる。			○	◎		
書道Ⅰ	A1-ASA-101-J	書写能力が向上し、書の表現、鑑賞、理論における美的感覚が養われる。			○	◎		
書道Ⅱ	A1-ASA-201-J	古典を臨書してゆく中で、さまざまな用筆法・結構法を学習し、多くの書表現ができるような技術や知識が身につく。			○	◎		
書道史Ⅰ	A1-FAH-201-J	中国の文字文化を理解した上で、それが日本にどのように入ってきたのか、どのように変化してきたのかを理解できる。	○	◎		○		
書道史Ⅱ	A1-FAH-301-J	中国の文字文化を理解した上で、それが日本にどのように入ってきたのか、どのように変化してきたのかを理解できる。	○	◎		○		

文学部日本文学科のカリキュラム			学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連					
科目名	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	日本文学の歴史の変遷について理解し、説明することができる。	日本文学と世界の他地域の文学との関わりについて理解し、説明することができる。	日本語の口語や文語に関する正しい知識や文法を修得し、上代から現代までの文学作品を正しく読み解くことができる。	日本文化の諸相について理解し、説明することができる。	日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達することができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真理を探究するために自律的に研究・調査できるための資質を身に付けている。
書道Ⅲ	A1-ASA-301-J	細字仮名の基本学習により、仮名の基礎的な表現が身につく。			○	◎		
書論	A1-ASA-302-J	書法・書体に関する概念と芸術論を理解することができる。	○	○	◎			
書学	A1-ASA-401-J	能書家の書論を理解した上で、実際の作品にどの様にその考え方が活かされているのかが説明できるようになる。	○		○	◎		
コミュニケーション・スキルⅠ	A1-FYE-103-J	対人コミュニケーションの理論を学び、練習し、考えることを通して、コミュニケーション・スキルの基礎(コツ)が身につく。					◎	
コミュニケーション・スキルⅡ	A1-FYE-104-J	対人コミュニケーションの理論を学び、練習し、考えることを通して、コミュニケーション・スキルの基礎(コツ)が身につく。					◎	
図書館概論	A1-LIH-101-J	図書館と本について知識を広め、図書館サービスと司書の仕事について理解することができる。				○		
図書館情報資源概論	A1-LIH-201-J	多様な図書館資料の形態と特徴が理解できる。また、出版事情に関する知識や資料収集における情報源に留意しながら、図書館資料全体を見る見方が身につく。				○		○
歴史資料と博物館	A1-CAS-201-J	歴史資料の収集、整理保存行為が博物館の調査研究活動と一体の行為として存在することを理解することができる。						○
博物館概論	A1-CAS-202-J	博物館成立に至る歴史過程を通し、博物館学成立の根拠を理解することができる。						○
地域と歴史文化情報	A1-CAS-301-J	博物館からの情報発信・情報活用や博物館への情報提供に関し、その実際とともに基本的な考え方を理解することができる。						○
仕事のコミュニケーション	A1-CAE-201-J	あらゆる職業で求められる基本的なコミュニケーション能力の修得および、就業意識を向上することができる。					◎	
インターンシップ	A1-CAE-202-J	実際の仕事を体験する中で、社会や経済の仕組みを理解しながら、自らの可能性を確かめることができる。					○	○
海外留学科目	A1-FLE-201-J	国際体験を通し、実践的な語学力の向上と国際理解力やコミュニケーション能力を得ることができる。		△		○		○
短期海外研修	A1-FLE-202-J	実践的な語学力の向上や、国際感覚を身に付けることができる。		△		○		○
書道Ⅳ	A1-ASA-402-J	仮名作品の制作を通して、仮名の魅力が理解できる。			○	○		
書道Ⅴ	A1-ASA-403-J	書作品の表現方法を、書体の違いや用具用材の違い、古典の筆法や書風の違いなどの面から学習し、実作に活かす力を身に付ける。			○	○		